

カトリック千葉寺教会 ★ボランティア通信★

No. 1 (2011年5月22日号)

カトリック千葉寺教会信徒の皆様

各地区集会にて既にご説明いたしましたが、千葉寺教会教会委員会では、このたびの東日本大震災を受け、設立された「カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）」の意向を汲み、災害対策支援活動を継続的にサポートする組織を立ち上げ、活動を始めます。

今後、CTVCからの支援依頼や情報等を「ボランティア通信」として発信いたします。

皆さんも、自分の「できること」でご参加下さい。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

災害対策支援グループ担当

A. カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）について

2011年3月11日、日本は未曾有の大災害に見舞われました。多くの尊い命が奪われ、2ヶ月余りが経った今でも、被災地では多くの方々が過酷な状況下におかれています。

日本のカトリック教会では、3月16日に、仙台教区がカリタスジャパンの協力を得て「仙台教区サポートセンター」（センター長：仙台教区平賀徹夫司教）を立ち上げました。塩竈教会を筆頭に、石巻教会、釜石教会、南三陸（米川教会）をボランティア活動ベース（拠点）とし、全国各地からのボランティアの受け入れ調整を行っています。

東京教区内では、これまで「真生会館学生センター」と「JLMMー日本カトリック信徒宣教者会」などが窓口になり、仙台教区サポートセンターを通して被災地にボランティア派遣等の支援を行ってききましたが、このような活動をひとつにまとめ、教区として、また、ひとつの教会として力を結集させ、今後長期的に被災地を支援していくため、2011年4月24日の復活の主日に、「カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）」（センター長：幸田和生補佐司教、教区本部窓口：高木賢一教区事務局長、事務局担当：漆原比呂志JLMM事務局長）が設立されました。

カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）では、つぎのことを中心に活動を行う予定です。

- ①仙台教区サポートセンターとの連携の下、CTVC協力ベースへの継続的なボランティア派遣を通じた被災者の支援
- ②東京近郊への避難者の支援（シェルター紹介、サポート、ボランティア派遣等）
- ③被災地支援及び避難者支援を行っている団体との連携促進（連絡会の実施）

B. カトリック千葉寺教会としての対応について

さて、上記「カトリック東京ボランティアセンター」設立を受け、今回の大震災からの1日も早い復旧・復興実現のための支援と、また今後の私たち自身の災害に対する策を構築するために、千葉寺教会として活動を推進する活動グループ「災害対策支援グループ（仮称）」を立ち上げます。今後は、この「災害対策支援グループ（仮称）」が中心になってCTVCからの依頼への対応を中心に支援活動を行っていきたいと考えています。

なお、このグループが正式に立ち上がり、活動できるようになるまでは、教会委員会がその活動を推進して参ります。

つきましては、「災害対策支援グループ（仮称）」設立に伴い、このグループ活動の運営、実行をサポートするスタッフの募集を行います。上記の設立趣意をご理解の上、信徒の皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

また、併せて、今後CTVCからの要請に応え、被災地でのボランティア活動、またその他の支援活動を行うことを希望なさる方の登録も行いたいと思います。

ご意見、不明な点等ございましたら、お問い合わせください。

信徒の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

C. カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）より

①被災地ボランティア募集について（2011年5月9日発信）

現在、CTVCでは、その活動の1つとして、仙台教区サポートセンターの活動地のひとつ、南三陸を協力ベースとして、ボランティアの募集を行っています。

主な活動は、

南三陸の志津川高校避難所でのボランティア活動となり、支援物資の仕分け、お風呂の付き添い、被災された方のお話相手や避難所の子どもたちとの触れ合い、等です。

応募条件は、

被災された方を中心に考え、テキパキと働ける方（若い方から60代半ばまで）

※高校生は保護者の同意書が必要です。

なお、南三陸でのボランティアは、2泊以上の日程でお願いします。

南三陸での活動を希望なさる方、または関心をお持ちの方は、
ボランティア活動に関する詳細について、ご説明いたします。

ご一報ください。

②東日本大震災：被災地訪問報告会☆カトリック麴町教会（聖イグナチオ教会）メルキゼデクの会

（2011年5月13日発信）

日時：2011年5月24日（火） 18:45～20:30

場所：カトリック麴町教会（聖イグナチオ教会）ヨセフホール

報告者：林里江子（SNN シグニスグッドニュースネットワーク）

Sr. 藤倉智佳子（マリアの御心会）

岩田鐵夫（メルキゼデクの会&東京カリタスの家）

*宮古・釜石・仙台若林地区を中心に被災地を訪問してきました。その空気、風、匂い、そして、被災された方々の心など、直接に触れて感じたことなどを広く伝えることも大切なことと思い、報告会を開きます。是非、ご参加下さい。

参加費無料・申込み不要

主催：カトリック麴町教会（聖イグナチオ教会）メルキゼデクの会

D. トピックス

①カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）第1回連絡会が開催されました。

日時：2011年4月28日（木） 13:30～

場所：フランススコ会聖ヨゼフ修道院 1Fホール

参加者：センター長：幸田和生補佐司教

事務局担当：漆原比呂志（JLMM事務局長）

真生会館学生センタースタッフ

各小教区、修道会、修道女会、NPO、その他の活動団体、他

内容：①CTVC設立の経緯、趣旨、現状の説明

②参加団体による活動報告、他

②「法王の使者、松島に祈る」（朝日新聞 5月17日付より）

ローマ法王ベネディクト16世の使者として被災地を訪れているバチカンのロベール・サラ枢機卿（65）が16日、松島湾の海上から祈りを捧げた。サラ枢機卿は被災した宮城県松島町の国宝・瑞巖寺を訪れた後、松島湾を航行する観光船に乗船。船上で「神よ、犠牲となった方々へ永遠の安息をお与えください」などとイタリア語で祈り、海に聖水と花束を捧げた。サラ枢機卿は「津波で財産や体を奪われても、心が失われることはない。被災者の皆さんはどうか希望を持って生きてほしい」と語った。

※バチカン教皇庁開発援助促進評議会議長のロベール・サラ枢機卿様は、5月13日～17日まで、教皇ベネディクト16世により、東日本大震災被災者との連帯を目に見える形で示すために教皇代理として派遣されました。訪日中、いわき市の被害状況の視察、15日（日）には仙台教区カテドラル元寺小路教会にて平賀徹夫仙台教区司教と共にミサ（英語）を司式、仙台教区内の被災地（仙台教区SC、塩竈・石巻教会、気仙沼海岸沿岸、等）の視察、松島地域の被災状況を視察（上記記事参照）するなど、犠牲者のために祈りを捧げ、精力的に被災地を回られました。